

2020年7月10日

特定非営利活動法人 動物実験の廃止を求める会  
理事長 長谷川裕一様

アサヒグループホールディングス株式会社  
代表取締役社長兼 CEO 小路明善

## 要望書に対するご回答

拝復 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、貴団体から受領しました2020年6月10日付「食品飲料、化粧品分野における動物実験廃止を求める要望書」の要望事項2及び3につきましては、下記のとおりご回答申し上げます。

下記のご回答は、2018年以降、当社が動物実験廃止に対する社会的要請の高まりと消費者の方々のお声を真摯に受け止めて、動物実験の全廃に向けた取り組みを継続してきた結果であります。ご理解賜れば幸いです。

敬具

### 記

#### 1. 要望事項2につきまして

当社グループでは、2021年12月末までに、食品・飲料分野における動物実験を全廃（但し、市販後の事故等、公衆衛生上の説明責任が生じた場合や諸外国の制度上法的要件とされている場合を除く）いたします。

動物実験の全廃を実現するにあたっては、今後グループ各社の商品開発計画の見直しや、動物実験を行わない機能性素材の開発プロセスの確立が必要になりますが、これらに関する詳細情報は当社の機密情報にあたりますので、開示することはできません。

当社では、動物実験代替法の開発状況を踏まえて適時に取り組むと共に、既存情報を活用した機能性素材の開発プロセスを早期に導入することで動物実験全廃に向けたステップを着実に踏んでまいります。

## 2. 要望事項3につきまして

当社グループでは、化粧品・医薬部外品分野における動物実験を即時全廃（但し、市販後の事故等、公衆衛生上の説明責任が生じた場合や諸外国の制度上法的要件とされている場合を除く）いたします。

以上